

北野かほる教授 略歴・業績一覧

(略歴)

一九五一（昭和二六）年八月一日出生

(学歴)

一九七五（昭和五〇）年三月 東北大学法学部卒業

一九七七（昭和五二）年三月 東北大学大学院法学研究科基礎法学専攻博士前期課程修了

一九八一（昭和五六）年三月

同

後期課程修了

(職歴)

1. 専任

一九八二年四月～一九九四年三月（昭和五七～平成六年） 岩手県立盛岡短期大学助教

一九九四年四月～二〇〇〇年三月（平成六～一二年） 駒澤大学法学部助教

一九九九年四月～二〇〇〇年三月（平成一一～一二年） 駒澤大学大学院法学研究科助教

二〇〇〇年四月～二〇二二年三月（平成一二～令和四年） 駒澤大学法学部教授

二〇〇〇年四月～二〇二二年三月（平成一二～令和四年）
駒澤大学大学院法学研究科教授

二〇〇四年四月～二〇〇五年三月（平成一六～一七年）
駒澤大学大学院法曹養成研究科兼任教授

2. 非常勤

一九八〇年四月～一九八二年三月（昭和五五～五七年）
宮城学院女子大学

一九八八年四月～一九九七年三月（昭和六三～平成九年）
愛知大学法学部

一九九三年四月～一九九四年三月（平成五～六年）
山形大学人文学部

一九九四年四月～一九九六年三月（平成六～八年）
東北学院大学法学部

一九九六年四月～一九九八年三月（平成八～一〇年）
駿河台大学法学部

二〇〇一年四月～二〇一〇年三月（平成一三～二二年）
東北学院大学法学部

二〇〇五年四月～二〇一〇年三月（平成一七～二二年）
明治大学大学院法学研究科

二〇〇六年四月～二〇〇八年三月（平成一八～二〇年）
明治大学法学部

二〇一一年四月～二〇一七年三月（平成二三～二九年）
明治大学大学院法学研究科

二〇一一年四月～二〇一三年三月（平成二三～二五年）
お茶の水女子大学文理学部

二〇一三年四月～二〇一四年三月（平成二五～二六年）
青山学院大学文学部

二〇一四年四月～二〇一五年三月（平成二六～二七年）
東京医療保健大学

二〇一五年四月～二〇一六年三月（平成二七～二八年）
明治大学法学部

北野かほる教授業績一覧

論文

- 「リチャードソン・セイルズのイングランド初期議会像―イングランド初期議会史研究序説―」
『法学』（東北大学）第四三巻一号 一九七九（昭和五四）年 五月
- 「初期のイングランド議会―下院の成立をめぐって―（一）（二・完）」
『法学』（東北大学）第四五巻三号・四号 一九八一（昭和五六年）九月・一〇月
- 「イングランド初期議会における「請願」について」
『法制史研究三二』（法制史学会年報一九八二年） 一九八三（昭和五八）年 三月
- 「十四世紀末期イングランドの議会裁判制度―『議会記録集』の記事をたどって―」
『法経論叢』（岩手県立盛岡短期大学）第七号 一九八六（昭和六一）年 一二月
- 「中世末期イングランドの秩序維持政策―騒擾法 Statute of Riot の成立過程―」
『法制史研究四三』（法制史学会年報一九九三年） 一九九四（平成 六）年 三月
- 「一四一四年騒擾法の政策的意図―中世末期イングランド秩序維持政策補論―」
『西洋史研究』（東北大学）新輯第二三号 一九九四（平成 六）年 一二月

- 「シユロプシヤの「悪党」——訴訟記録にみるバスタード・フューダリズム——」
『法学』（東北大学）第六三卷六号 二〇〇〇（平成一二）年 一月
- 「悪党」の所行——十五世紀シユロプシヤのバスタード・フューダリズム——」
『駒澤大学法学部法学論集』第六十号 二〇〇〇（平成一二）年 一月
- 第九章 中世後期イングランド王座裁判所刑事司法手続——
『ヨーロッパ中世の権力編成と展開』（渡辺編・東京大学出版会） 二〇〇三年 二月
- 「ウスタシアの騷擾——ある惨殺事件——」『史料が語る中世ヨーロッパ』（國方・直江編・刀水書房） 二〇〇四年 二月
- 「オクスフォードシヤの騷擾——王のコロナ対大学人——」小山貞夫先生古希記念論集
『西洋法制史学の現在』（創文社） 二〇〇六（平成一八）年 五月
- 「歴史が法と出会うとき——中世イングランドの紛争解決を手がかりに——」
『熊本歴史科学研究会会報』第五七号 二〇〇六（平成一八）年 五月
- 「法廷にあらわれた仲裁——中世後期イングランド法システムにおける「裁判外」紛争解決——」
広中俊雄先生傘寿記念論集『法の生成と民法の体系』（林・佐藤編創文社） 二〇〇六（平成一八）年 二月
- 「史料紹介」続・深読みのまえに」『法史学研究会会報』（明治大学法史学研究会）一〇号 二〇〇七（平成一五）年 三月
- 「聖俗筆頭貴族貴族間の紛争と王——一五世紀初頭イングランドの場合——」『西洋史研究』（東北大学）
新輯第三七号（共通論題「中世王権と聖俗貴族層——紛争の解決とアイデンティティ——」） 二〇〇七（平成一九）年 一月

“How did they treat Arbitration in the Courtroom in the Fifteenth Century?”

The Haskins Society Journal in Japan: Studies in Medieval History, vol.3 2007

- 「中世後期イングランドにおける仲裁の位置」『法が生まれるとき』(林・新田編創文社) 二〇〇八(平成二〇)年一〇月
- 「第八章「裁判」と「裁判外」のあいだ—中世イギリスの紛争解決—」 二〇一一(平成二三)年一月
- 『調停の近代』(川口編・勁草書房) 二〇一一(平成二三)年一月
- 「サザックの強奪—「既判力」—以前の世界—」 二〇一一(平成二三)年三月
- 『立命館法学』(立命館大学) 第三三三・三三四号 二〇一一(平成二三)年三月
- 「第二章 仲裁と裁判のあいだ—仲裁適合的紛争類型試論—」 二〇一一(平成二三)年四月
- 『ヨーロッパ中世社会における統合と調整』(渡辺編・創文社) 二〇一一(平成二三)年四月
- 「中世後期イングランド刑事司法の世界—重罪犯有罪事例を軸として—」 二〇一六(平成二八)年三月
- 『法制史研究六五』(法制史学会年報二〇一五年) 二〇一六(平成二八)年三月
- 「ノッティング・ヒルの追剥—ヘンリ四世の強盗団撲滅政策」 二〇二〇(令和二)年三月
- 『駒澤大学法学部研究紀要』第七八号 二〇二〇(令和二)年三月
- 「史料紹介」中世イングランドの非訟事件記録—イギリス中世手書文書閱讀雑感—」 二〇二〇(令和二)年三月
- 『法史学研究会会報』(明治大学法史学研究会) 第二四号 二〇二〇(令和二)年三月
- 「中世イギリスの非訟事件記録—一五世紀初期リキル家の継承財産設定の場合—」(一)(二)(三)(四・完) 二〇二一(令和三)年一・九・一二月
- 『駒澤法学』(駒澤大学) 第二〇卷三号・四号・第二二卷一号・二号 二〇二一(令和三)年一・九・一二月

「その他の追剥たち―続・ヘンリ四世の強盗団撲滅政策―」鶴島博和先生退職記念論集

『歴史的世界へのアプローチ』（春田・新井・Rot編・刀水書房）

二〇二一（令和 三）年 二月

監訳

『オックスフォード ブリテン諸島の歴史五 一四・一五世紀』（慶應大学出版会）

二〇〇九（平成二一）年 一月

共訳

北野かほる・小山貞夫・直江真一「ジョン・フォーテスキュー著『イングランド法の礼賛について

（邦訳）（一）（二）（三・完）『法学』（東北大学）第五三卷四号・五号・第五四卷一号

一九八九（平成一）年 一〇月・一二月・一九九〇（平成二）年 四月

書評

- 「城戸毅『中世イギリス財政史研究』」
一九九六（平成八）年三月
- 『法制史研究四五』（法制史学会年報一九九五年）
- 「新井由紀夫『ジェントリから見た中世後期イギリス社会』」
二〇〇六（平成一八）年七月
- 『史学雑誌』（史学会） 第一一五編七号
- 「小室輝久「単独治安判事と和解による紛争解決」」
二〇〇七（平成一九）年三月
- 『法制史研究五六』（法制史学会年報二〇〇六年）
- 「ヴァーノン・ボグダナー（小室輝久・笹川隆太郎・R・ハルバーシュタット共訳）
『英国の立憲君主政』」『法史学研究会会報』（明治大学法史学研究会） 一〇号
二〇〇七（平成一九）年三月
- 「朝治啓三「バロンの反乱と一二五八・六五年の王国共同体」」
二〇〇九（平成二一）年三月
- 『法制史研究五八』（法制史学会年報二〇〇八年）
- 「ホウルズワース他／西山敏夫訳『英米法の歴史家たち』」
二〇一二（平成二四）年三月
- 『法制史研究六一』（法制史学会年報二〇一一年）
- 「苑田亜矢「一二世紀イングランドにおけるヨーク大司教毒殺事件に関する一考察」」
二〇一七（平成二九）年三月
- 『法制史研究六六』（法制史学会年報二〇一六年）

その他

「歴史研究とマックス・ヴェーバー」の「アブラモフスキー」（松代和郎訳）

『マックス・ウェーバー入門』を読む」『創文』（創文社）二二四

一九八四（昭和五九）年

「佐藤伊久男著『中世イングランドにおける諸社会の構造と展開』

―複数の軌跡― サムソンはどこに消えたのか？」『創文』（創文社）新編一一

二〇一三（平成二五）年